



くらもとたかふみ
藏本隆文議員

現場に合った 防災計画を

議員 ① 昨年の検証は行ったのか。また、いつ公表するのか。② 市の対応の問題点は。③ 災害時の市・地域の体制をどう考えるのか。

市長 ① 市役所内部の災害業務に関するもので、公表予定は無い。

② 情報取得の周知不足、避難所運営、災害対応業務の偏りなどが問題であった。③ ハード・ソフト対策の両面から一層取り組まなければと考える。地域では、市内全域により進んだ体制を構築していくことが必要と感じる。

議員 今後に向けて、もっと検証を行い、公表をしていただきたい。

ごみ袋の有料化は 行すべきではない

議員 ① 平成28年度に否決したと



きに、有料化によって解決されるものではなく、まちづくり協議会等から、減量化に向けたアイデアを求めつつ、市民のやる気を減量化に向けた学習や、行政と一緒に減量化を再組織すべきと提言したが、行ったのか。② 有料化している自治体の割合はいくらか。

市長 ① 市民と直接対話して、現状と課題を伝えご意見を伺った。

② 64・6%である。

議員 総合計画の基本理念のひとつが協働である。提言の行動を行わず、20%削減という目標に3%届かなかっただけである。知恵を出し合えばこの目標はすぐ達成するのではないか。超過した方は、高い袋を買っていて、この制度は機能している。むしろ定住促進に繋がるのではないか。



うまこしゆうせい
馬越裕正議員

高まる期待 小中一貫教育

議員 教育においては、「多様性」がキーワードになってきていると思う。教職員の働き方改革が重要であるが、支援員制度の充実も含めて、更には不登校対策も大切である。小中一貫教育の推進をしている笠岡市の対策についてたずねる。

教育長 まずは、「多様性」を受け入れることは必要だと考える。笠岡市学校事務共同実施組織を立ち上げて、事務の効率化を図り、ICT機器の整備とICT支援員の配置、市独自の教員業務アシスタントの配置をしている。また、市費で、不登校対策支援員を4名配置している。今後は、小中一貫教育を進めて、中1ギャップの解消を目指し、「地域学」の充実により、笠岡の魅力を伝えていく。



市民の期待 室内プール実現へ

議員 昨年、大きな話題となった運動公園の整備計画についてたずねる。市民の要望は、「プールをどうするのか」だったと思うが、アンケート調査の結果と分析についてたずねる。

教育部長 スポーツ施設が不足と回答された方の90%以上が「室内プールが必要」と回答している。近隣自治体のほとんどが公立の室内プールを有している。アンケート結果を受け、室内プールの整備を検討することも含めて、運動公園のリニューアルに向けた整備計画を作成している。

